

シンポジウム 史跡 島原藩主深溝松平家墓所と深溝松平家



島原墓所



深溝墓所

幸田町において本町主催で歴史シンポジウムが開催されるのは初めてであり、平成8年に幸田文化振興協会の自主事業により「島原の乱」をテーマとしたシンポジウムが開催されて以来のことです。町内外から200人が参加し、両日ともに大盛況の賑わいでした。

7月12日・13日の両日、幸田町で深溝松平家墓所をテーマとした歴史シンポジウム（主催・幸田町・幸田町教育委員会、共催・三河考古学談話会、後援・知県教育委員会・中日新聞社）が開催されました。このシンポジウムは「町史跡松平家墓所」が「国史跡島原藩主深溝松平家墓所」として国の指定を受けたことを、町内外の方々に知っていただくために企画されたものです。

7月12日(土)	
①記念講演会	
「近世大名家墓所と深溝松平家墓所」	坂詰秀一（立正大学名誉教授）
②基本報告	
「深溝松平家の成立と菩提寺本光寺の建立」	神取龍生（幸田町教育委員会）
「島原市と島原藩主深溝松平家」	土橋啓介（島原市教育委員会）
7月13日(日)	
③事例報告	
第1部 島原藩主深溝松平家墓所の歴史と特質	
「島原藩主の逝去・埋葬・墓所造営」	長屋隆幸（名城大学講師）
「歴代墓所「石殿」と建立後の物質的管理」	藤井恵介（東京大学大学院教授）
「深溝松平家墓所の形成とその特質」	赤羽一郎（愛知淑徳大学講師）
第2部 島原藩主深溝松平家の文化水準	
「島原藩主松平忠房の文事」	川平敏文（九州大学准教授）
「祝婚青色ガラス杯の旅路と復元 ーヴェネチア、ポヘミア、出島、そして幸田町ー」	岡 泰正（神戸市立博物館）
「深溝松平文化財からみる島原藩の文化水準」	小池富雄（鶴見大学教授）
④パネルディスカッション	
司会 荒井信貴（岡崎市美術博物館副館長、三河考古学談話会会長）	

① 記念講演



立正大学名誉教授
さかづめ ひでいち
坂詰 秀一 先生

文化財調査の総指揮を務められた坂詰秀一先生による記念講演では、日本の近世大名家墓所の調査の歴史とその在り方について映像を交えながら説明いただいたあとで、深溝松平家墓所の特殊性についてお話しいただきました。

② 基本報告

島原市と幸田町における、それぞれの深溝松平家の歴史について両市町教育委員会の文化財担当職員から報告がありました。事例報告・パネルディスカッションを聞くための基本情報の提供として、そして「幸田町に島原の史跡があるのか」という根本的な部分を理解してもらう事を目的としました。



こいけとみお 先生
小池富雄 先生



おか やすまさ 先生
岡 泰正 先生



かわひらとしふみ 先生
川平敏文 先生



あかはねいちろう 先生
赤羽一郎 先生



ふじいけんじ 先生
藤井恵介 先生



ながやたかゆき 先生
長屋隆幸 先生

③ 事例報告

第1部・島原藩主深溝松平家墓所の歴史と特質、第2部・島原藩主深溝松平家の文化水準と題して、それぞれ3名ずつ、計6名の専門家に、それぞれの立場から深溝松平家と深溝松平家墓所についての事例報告をいただきました。

第1部では墓所そのものに焦点を当て、当主の死から、墓所造営、現在に至るまでの管理について調査成果をもとに報告していただきました。

第2部では深溝松平家の近世大名としての文化水準について、歴代当主の文事と文化人との交流、出島を通しての西洋との関係を踏まえ、頻繁に行われた西国外様雄藩との儀礼交友について研究成果を踏まえながら報告していただきました。

④ パネルディスカッション



あらいのぶたか 先生
荒井信貴 先生

荒井信貴先生に司会をお願いし、深溝松平家墓所についての討論会を行いました。パネリスト同士での質疑や聴講者から寄せられた質問に答えながら討論会は進み、会場にいられたいた研究者からは今後の調査の方向性や他の大名家の葬儀の仕方との違いなどについてコメントをいただきました。

討論会の最後に、坂詰秀一先生が「幸田町の誇りとして、心よりどころとして愛していただきたい。墓所は本光寺だけのものではない、町の誇りとして町民みんなで護っていただきたい」と総括されました。



今後の予定

史跡 島原藩主深溝松平家墓所につきましては、史跡を後世まで残していきたいように、島原藩主深溝松平家墓所保存整備委員会のご指導をいただきながら、史跡の保存管理計画の作成を進めております。

今後町民の皆様には、幸田町の貴重な文化財の保護につきまして、ご理解とご協力をよろしくお願い致します。



深溝松平家21代当主
まつたいらただつぐ 松平 忠承 氏

今回のシンポジウムには、松平家墓所の所有者である深溝松平家21代当主松平忠承氏がご家族でお越しになりました。忠承氏は「これから微力ながら協力させていただきます」と発言されました。



▲聴講される松平忠承氏